

桐朋学園小学校

【理事長】小柳 敏志

【校長】片岡 哲郎

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10 TEL 042-575-2231(代) <http://www.tohogakuen-e.ed.jp>

【交通】JR中央線国立駅、南武線谷保駅

緑豊かな自然環境で、伸び伸びとした子供を育てたい！

桐朋学園の教育方針

○個性豊かで調和のとれた人間の育成

- 基礎学力を充実させる
- 心身を鍛える
- 情操を培う

密度の濃い学習課程と豊かな学校行事

一貫した教育方針のもと、一人ひとりの子供を大切にじっくり育てていきます。密度の濃い学習課程に、学校行事なども加えて、子供らしく、伸び伸びとした生活の中から自ら学ぶ力を養うようにしています。

意欲と心身、情操を養う教育

基礎学力の充実●国語・社会・算数・理科などの基本教科は担任が受け持ち、図工、音楽、習字、体育など専門教科は専科制にし、基礎学力の充実を図っています。思考力・想像力を養うもとなる意欲を大切にしています。観察力・表現力・構成力を必要とする日記の指導も行っています。毎日提出される日記は担任と児童の心の交流を豊かにし、きめの細かい指導に役立っています。

心身を鍛える●駅から15分を歩いて毎日通学しています。毎朝、体操やランニングをして、知らず知らずのうちに体力が鍛えられています。歩くことが主体の遠足、5年生の林間学校では天狗岳に登山しています。水泳は5月から10月まで学年に応じて指導され、6年生の臨海学校では遠泳を行っています。それらの体験を通して、目標を達成しようとする強い意志が養われていきます。

情操を培う●雑木林に囲まれた緑の環境の中で、砂場、木登り、アスレチックなどで遊びながら自然と触れ合っています。きゅうり、大根などの栽培や、うさぎ、にわとり、あひるを育てながら生命の営みにふれ、優しさが養われていきます。四季の変化をスケッチし、美しいものに感動する心が培われていきます。5年生の1年生送りや児童会活動、クラブ活動などによって、学年を越えた友情が芽生えています。

上級学校に進むには

学校長の推薦により、桐朋中学校・桐朋女子中学校に進学が可能。

子供の豊かな個性とみずみずしい感性を
じっくり育てる環境が整っています

校長 片岡 哲郎

たっぷりと豊かな小学生時代であってほしいと願っています。林の中にかぶと虫を探しまわり、本に夢中になり、教室では友だちといっしょに「なぜだろう？」と真剣に考え、休み時間にはワーツと校庭へ飛び出していき、そんなのびやかで子どもらしい生活の中で、学ぶ意欲や友だちを大切にすることが育ちます。そしてやがて個性が開花していきます。子どもは良い環境でおおらかに見守ってやるのが肝要だと存じます。



沿革

桐朋学園の前身は、昭和16年3月に設立された山水中学。同23年、新学制により、桐朋中学校、高等学校に改編。同26年、私立学校法の施行に伴って、学校法人桐朋学園となる。同33年に小学校を併設し、翌34年、第1学年から第3学年までの編成で開校する。

2016年度募集要項

募集人員：男女72人

出願期間：10月1日(木)午前10時から午後2時まで(小学校)、10月2日(金)・3日(土)午前10時から正午まで(中高事務室) ※窓口のみ

出願手続き：所定の書類をそろえて、指定場所へ提出。

検査料：25,000円

選考日：11月5日(木)・6日(金)・7日(土)・8日(日)

選考内容：言語・作業・行動など

合格発表：11月10日(火)(郵送)

【初年度納付金(2015年度参考)】

入学金：270,000円

授業料：408,000円

建設費：130,000円

施設拡充費：192,000円

P T A入会金：2,000円

その他教材費など：66,300円

初年度納入金総計：1,072,300円

※2016年度については、若干改定されることもあります

併設中学進学状況

◆桐朋中学校(男子35人)

◆桐朋女子中学校(女子28人)

データパック

児童数424人/教員数27人

15年度応募者数：男子307人、女子172人

合格者数：男子36人、女子36人

【併設校】

○桐朋幼稚園

○桐朋中学校・高等学校

○桐朋女子中学校・高等学校

○桐朋学園芸術短期大学

○桐朋学園大学

○桐朋学園大学院大学